

令和6年4月1日付け 知事部局人事異動について

1 人事異動の概要

県政の諸課題に対応するための組織改正に併せて、適材適所による人事体制を整備した。

○令和6年4月異動：902人 ← 令和5年4月異動：882人、令和5年7月異動：109人

※異動規模は近年900人前後で推移（R2年4月：878人、R3年4月：887人、R4年4月：885人）

※令和6年4月異動においては、技術職（土木等）の職位見直しによる処遇改善も実施。

(1) 女性管理職日本一の水準がさらにアップ

女性活躍における全国の最先進県として、男女問わず適材適所の職員配置に努めることで、管理職の男女共同参画を進め、県政の主要施策を推進する。

〔女性管理職員（部次長級）の主な異動〕

◆会計管理者	村上 真弓（部長級）	現 文化振興監 兼文化政策課長
◆感染症対策センター所長	吉岐 幸子（次長級）	現 感染症対策課長
◆くらしの安心局長	荒田 すみ子（次長級）	現 雇用人材局長
◆雇用人材局長	藤田 博美（次長級）	現 総合教育推進課長
◆東部地域振興事務所長	藤田 美奈子（次長級）	現 食パラダイス推進課長

〔管理職（課長級以上）に占める女性の割合〕

令和5年4月現在：24.8%（全国第1位）⇒ 令和6年4月（速報値）25.3% 内閣府公表ベース
全国一位であった前年度の水準がさらにアップし、女性活躍の場が拡大。

※知事部局、病院局、教育委員会（学校の教員を除く）、各種委員会、警察本部を含む県全体

※内閣府は、都道府県の女性管理職の割合を公表しており、例年、4月の状況を当該年度の12月に公表

（参考）知事部局の管理職（課長級以上）職員の女性割合：19.8% ⇒ 20.3%（73名 → 79名）

(2) 県政の主要課題への対応

①人口減少社会対策及び中山間における課題解決に向けた体制の強化

輝く鳥取創造本部に「とっとり暮らし推進局」を設置し、若者Uターン・定住施策の推進や移住者3,000人の達成に向けた体制強化を図る。

◆とっとり暮らし推進局長 兼若者Uターン・定住戦略本部事務局長	松本 典久（次長級） 現 総務省自治行政局選挙部政治資金課政助成室長
◆人口減少社会対策課長	川本 陽子（課長級） 現 総務部・参事（米子市派遣）
◆協働参画課長	足立 多恵子（課長級） 現 県民参画協働課ボランティア社会・SDGs推進室長

②犯罪被害者支援のための新たな体制整備

被害者に寄り添い、きめ細やかな支援を行う体制として、生活環境部に犯罪被害者総合サポートセンターを設置

◆犯罪被害者総合サポートセンター所長	澤米 渉（次長級） 現 中部総合事務所県民福祉局・副局長 兼中部振興課長 兼中部復興支援幹 兼中山間地域振興チームサブチーム長
--------------------	--

③大阪・関西万博推進に向けた体制整備

令和7年4月開幕予定の大阪・関西万博の本県展示の準備推進や、万博来訪者の本県への誘客促進に向けて、関西本部に万博推進室を設置

◆関西本部長 兼大阪・関西万博鳥取県 魅力発信強化戦略会議事務局長	森本 誠人（次長級） 現 輝く鳥取創造本部参事（山陰インバ ウンド機構派遣）
◆政策戦略本部参事監（大阪・関西万博 出展等担当）	山本 桂司（次長級） 現 販路拡大・輸出促進課長
◆関西本部分万博推進室長	亀谷 雅俊（課長級） 現 立地戦略課 課長補佐